

「霧島国際音楽祭の価値創造メカニズムの解明と芸術文化事業マネジメント人材育成プログラムの開発」

プロジェクト参加教員

馬場武（法経社会学科経済コース 講師）、農中至（法経社会学科地域社会コース 准教授）、林田吉恵（法経社会学科経済コース 教授）

役割分担：馬場＝調査・資料収集、研究の総括、農中・林田＝調査・資料収集

助成額

50 万円

プロジェクトの目的

日本最古の国際音楽祭とも評される霧島国際音楽祭は、1980 年の開催以来、多くの国際的音楽家を輩出しており、世界水準の舞台芸術の文化的価値を創造し続けている。したがって、霧島国際音楽祭は、鹿児島県の近現代における世界に冠する地域文化資源の一つであると理解される。しかし、霧島国際音楽祭は、舞台芸術の瞬間芸術という特徴から、その文化資源としての価値を多くの地域住民が理解可能な形で表出化することが難しい。

本プロジェクトの目的は、霧島国際音楽祭を例に、芸術文化資源が地域にもたらす複合的な価値について明らかにしていくことである。また、芸術文化資源の価値を地域住民と共有するためのデザイン思考を併せ持つマネジメント人材を育成する教育プログラムの開発のための基礎的データの構築を目指す。

具体的には、霧島国際音楽祭の地域文化資源としての価値について、直接的にその価値を享受していると考えられる観客を対象とした質問紙調査から明らかにしていく。また、地域住民の芸術文化資源への価値認識について、芸術文化活動に理解や関心のある地域住民を対象としたワークショップから明らかにしていく。

具体的なプロジェクトの内容

本プロジェクトでは、霧島国際音楽祭の観客調査と霧島市民を対象とした芸術文化を考えるワークショップ「霧島の未来への贈りものプロジェクト」を実施した。

(1) 霧島国際音楽祭の観客調査

霧島国際音楽祭の主催者である鹿児島県とジェスクおよび県文化振興財団と連携して、霧島国際音楽祭の観客を対象とした質問紙調査を実施した。本調査の目的は、地域住民のうち、直接的に音楽祭の価値を享受している観客の音楽祭への価値認識を明らかにすることである。

質問紙票調査は、みやまコンセールおよび宝山ホールにて、2022年7月23日(土)～8月7日(日)の期間で実施された。収集された有効回答票は1,989件であった。即時、データ化し基礎分析の速報結果を2022年9月6日(火)に鹿児島県とジェスクおよび県文化振興財団に報告および共有した。その後、詳細な分析をおこない、2023年3月18日(土)に鹿児島県と県文化振興財団に報告書を提出し結果を共有した。その際、調査結果を踏まえた主催者の見解も収集している。

(2) 芸術文化を考えるワークショップ「霧島の未来への贈りものプロジェクト」

霧島国際音楽祭の共催者である霧島市と鹿児島県と連携して、霧島市民を対象にした地域ワークショップを企画および実施した。ワークショップの目的は、地域の芸術文化資源に対する市民の価値認識を明らかにすることである。

なお、本ワークショップは、霧島市国分シビックセンターにて2022年10月30日(日)の9:30～12:10で実施された。参加者は芸術文化に関わる市民から高校生まで多様なメンバーで構成され、全員で40名であった。ワークショップは社会教育学と情報と知識の経営学の観点から観察調査を行い、参加者の価値認識を分析した。分析結果については、2022年11月24日(木)に鹿児島県と霧島市に共有され、その上で行政の見解を収集した。

具体的なプロジェクトの成果

(1) 霧島国際音楽祭の観客調査

霧島国際音楽祭の観客を対象とした質問紙票調査の分析結果から、年代別クラスターごとに音楽祭への価値認識の違いが見られた。具体的には、高年齢層ほど音楽祭を地域の財産として認識していることがわかった。一方、若年層ほど、音楽祭と地域とのつながりというよりは、自分と一流の演奏家との距離感の近さなど個人を中心とした価値を認識していることがわかった。なお、分析結果は連携機関である主催者の鹿児島県と同じく主催者のジェスクおよび県文化振興財団に共有している。

(2) 芸術文化を考えるワークショップ「霧島の未来への贈りものプロジェクト」

霧島市民の芸術文化資源に対する価値認識から、霧島市の芸術文化の多様性維持と持続可能性における現状と問題を把握することができた。霧島市では、市民の熱意と豊かな人的ネットワークが強みであるが、地域での芸術文化事業運営の根本的な問題として、市民(個人と団体)に主体的な運営視点が希薄であることがわかった。なお、分析結果は霧島市および鹿児島県に共有している。

プロジェクトの成果物

< 報告書 >

馬場武「2022 霧島国際音楽祭観客アンケート分析結果」、2023年3月18日.

< 社会貢献活動（連携機関への学術情報提供） >

馬場武「2022 霧島国際音楽祭観客調査について 速報」、2022年9月6日.

農中至「霧島ワークショップの振り返りと今後の課題」、2022年11月24日.

馬場武「霧島ワークショップの振り返りと提案」、2022年11月24日.



芸術文化を考えるワークショップ「霧島の未来への贈りものプロジェクト」の様子